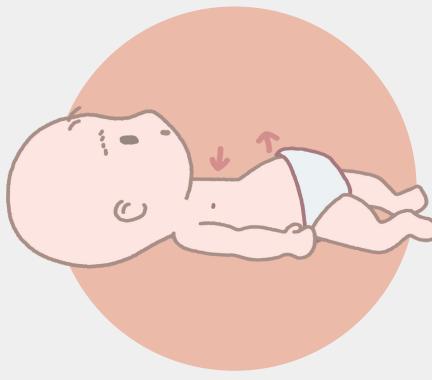


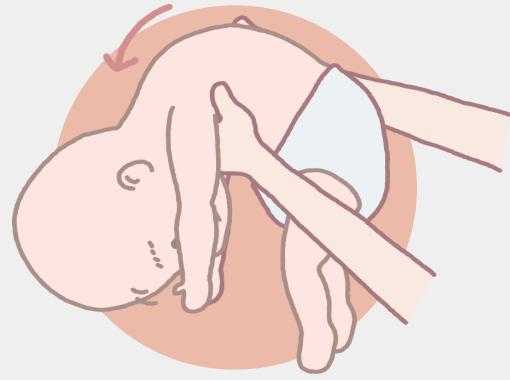
# 赤ちゃんに こんな症状ありませんか？



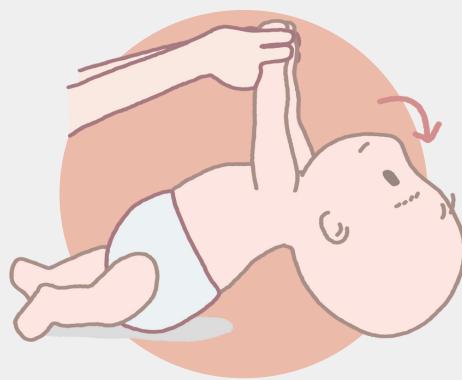
床に寝かせると、カエルの足のように  
両足が開いて膝がペタッと  
床についている



息を吸おうとするとお腹が膨らみ  
胸がへこむ（シーソー呼吸）



うつ伏せで抱き上げると  
頭が上がらず、手足もだらんとしている



引き起こすと頭がついてこない  
頭を上げることが出来ない



腰と背中を大きく丸め  
首を後ろにそらせた状態で座る  
(月齢：6ヶ月以降)

※チェックは赤ちゃんが眠っている時ではなく、しっかり起きている時に行いましょう

## それはSMA(脊髄性筋萎縮症)かもしません！

## 1日でも早く小児神経医へ受診を！

### SMA(脊髄性筋萎縮症)とは

SMA（脊髄性筋萎縮症）は、運動神経の生存や機能維持に必要なタンパク質の産生が減少し、運動神経細胞の機能を維持できなくなっていく下位運動ニューロンの中脳神経系に起因する遺伝性の希少疾患です。手足や体幹、呼吸を司る脊髄の運動神経が障害され、全身の筋力が徐々に弱くなります。

発症時期により、I型からIV型までに分類され、発症が早いほど重症といわれています。重症の場合赤ちゃんの時に運動発達が止まり、次第に食べることも呼吸することもむずかしくなってきます。

### ～SMAの治療～

2017年に核酸医薬品（スピルラザ<sup>®</sup>）、  
2020年に遺伝子治療（ゾルゲンスマ<sup>®</sup>）、2021年に経口薬（エブリスディ<sup>®</sup>）、治療薬が続々と発売され、現在も治験が行われています。  
いずれも早期治療・発症前治療により最大限の効果が期待できます。

### 1つでもピンときたら

- 詳しいチェックリスト
- 専門病院検索

～詳しくはHPをチェック！！～

